

2021年5月11日

2021年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第三報）

運営委員長	久保田貴文（多摩大学）
実行委員長	西井 龍映（長崎大学）
プログラム委員長	坂本 亘（岡山大学）

2021年度統計関連学会連合大会について、現時点での進捗状況をご報告いたします。今大会は 応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催、により開催されます。初日の9月5日(日)はチュートリアルセッションと市民講演会をどちらもオンラインにより開催いたします。また、2日以降（9月6日(月)～9日(木)）は一般講演や企画セッションなどを、現地および遠隔によるハイブリッド方式で開催する予定でしたが、現在の新型コロナ感染拡大（以降、コロナ禍）に伴い、「**完全オンライン開催**」に変更になりました。今後、コロナ禍の状況が好転した場合にも、再度開催方式が変更になることはありません。また、オンライン開催ですので飲食をともなう懇親会の開催や開催校に設置するような託児所の開所はしませんので、どうぞご承知おきください。

この第三報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2021/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

1. オンライン開催に伴う変更事項のご案内

開催方式はオンライン開催に変更になりましたが、講演申込の期間については昨年度と同様の5月10日（月）から受付を開始しました。講演申込の詳細につきましては上記連合大会のウェブページをご確認ください。講演申込は **Confit** という **Web** システムを使いますので、上記連合大会ウェブページから行ってください。（講演申込は6月2日（水）17:00厳守、となります。）

なお、オンライン開催となりましたので、それに伴い既に申し込んでいる企画セッションのオーガナイザーには変更の旨を個別に連絡しました。また、協賛の申込をいただいている各社・各団体におかれましても、協賛内容に一部変更があることを個別に連絡しましたので、ご確認ください。

2. 大会日程, 開催場所, 各種受付期間

大会日程	9月5日(日) : チュートリアルセッションと市民講演会 9月6日(月) ~ 9日(木) : 本大会
開催場所	すべての日程・セッションはオンライン開催となります
主催	応用統計学会, 日本計算機統計学会, 日本計量生物学会, 日本行動計量学会, 日本統計学会, 日本分類学会
講演申込	5月10日(月) 11:00 ~ 6月2日(水) 17:00 厳守
報告集原稿提出	6月7日(月) 11:00 ~ 6月25日(金) 17:00 厳守
事前参加申込 (割引料金)	6月7日(月) 11:00 ~ 8月23日(月) 17:00 厳守
通常参加申込 (通常料金)	8月23日(月) 17:00 ~ 当日 ※参加申込もオンラインのみとなります。

3. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項があります。ご注意ください。

(1) すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、上記ウェブページからお申し込みください。これ以外の申込方法はありませぬ。申込ページでは、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択してください。原則として、申込は講演者が行ってください。ただし、「企画セッション講演」に限り、オーガナイザーが講演者に代わって申し込むことも可能です。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申し込みください。ウェブページ上の講演申込手順にしたがって申込をしてください。プログラム編成の際の参考にしますので、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。また、講演者(連名講演者を含む)のうち、少なくとも1名は主催6学会のいずれかの会員であることが要件です。なお、参加方式については、オンラインセッションのみとなります。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

企画セッション講演者は、オーガナイザーから連絡を受けた整理番号に対応するセッションを申込ページの整理番号欄にて選択してください。例えば、整理番号が12であると連絡を受けた講演者は、「**企画セッション講演 12**」を選択してください。なお、企画セッション講演者（連名講演者を含む）については、主催6学会いずれかの会員であることを要件としません。

オーガナイザーが代理で申し込む場合は、それぞれの講演の申込を1件ずつお願いいたします。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は、次のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2021年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）
上記(2)と同様に、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。また、コンペティション対象者は、講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（入会申請中）でないことが判明した場合は、コンペティションへのエントリーを取り消しますので、十分にご注意ください。

審査は、複数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者数名程度を選考します。

コンペティションセッションは、9月6日（月）～8日（水）（予定）に開催し、9月9日（木）に表彰式を行う予定です。なお、コンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度も申込順で受け付け、応募状況によってはコンペティション参加件数を制限することがあります。

(5) 講演言語の選択欄

講演申込のページの講演言語欄では、「日本語」、「英語」「日本語または英語のどちらでもよい」のいずれかを選択してください。

4. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」, 「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル(PDF形式)を提出していただきます。「2. 大会日程, 開催場所, 各種受付期間」を参照の上, 原稿提出期間を厳守してください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

原則として, 講演者が提出してください。書式・提出期間等は, 上記(1)と同じです。オーガナイザーが代理で提出する場合は, セッション内の各講演について, 上記(1)と同様にして1件ずつ原稿を提出してください(「2. 講演の申込 (3)「企画セッション講演」に関わる事項」も参照)。その場合, オーガナイザーは, 期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで講演者に原稿作成・提出を依頼してください。

(3) すべての講演に共通の事項

講演種別にかかわらず, ご希望の方は, 報告集用原稿とは別に, ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます(A4サイズ, 最大10ページまで, PDF形式, ファイルサイズは1MB以内, フォント埋め込み)。詳細論文ファイルを上記(1)と同じタイミングで提出していただきます。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領については, 連合大会ウェブページ(<http://www.jfssa.jp/taikai/2021/>)をご覧ください。

(4) その他

講演報告集は大会当日までに郵送にてお届けする予定です。

【注意】

講演報告集は, 本大会ウェブページにて公開予定です。公開を希望しない場合には, 報告集用原稿の提出時に, その旨をご指示ください。

5. 企画セッションのご案内

学会や個人等から申請のあった22件の企画セッションが予定されています。整理番号, テーマ名, オーガナイザーの氏名・所属は以下の通りです。各テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどについては, 後日連合大会のウェブページに掲載される情報をご参照ください。

なお, 企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので, テーマについてのお問い合わせは, 各オーガナイザーにお願いいたします。企画セッションの日程はプロ

グラム作成時に決定いたします。

(整理番号), テーマ名 (セッション名), オーガナイザー (敬称略)

- (01) 若手向けセッション：研究者への道Ⅱ (藤澤洋徳 (統数研), 川野秀一 (電気通信大))
- (02) デモンストレーションセッション (久保田貴文 (多摩大))
- (03) 日本計量生物学会シンポジウム「リアルワールドエビデンスを指向した反事実因果アプローチの実践と課題」 (篠崎智大 (東京理科大))
- (04) 日本統計学会会長講演, 各賞授賞式および受賞者記念講演 (1) (山下智志 (統数研))
- (05) 日本統計学会会長講演, 各賞授賞式および受賞者記念講演 (2) (山下智志 (統数研))
- (06) 日本計算機統計学会企画セッション『高次元データおよび高次元時系列データにおける統計的推測』 (兵頭昌 (神奈川大), 川野秀一 (電気通信大))
- (07) 応用統計学会学会賞受賞者講演 (姫野哲人 (滋賀大), 南美穂子 (慶應義塾大))
- (08) 確率微分方程式モデリングのための統計ソフトウェア開発プロジェクトYUIMAにおける最近の成果の紹介 (小池祐太 (東京大))
- (09) 設計と製造のデータ科学：産学の最前線 (吉田亮 (統数研), 藤澤洋徳 (統数研))
- (10) 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演 (安藤友紀 (医薬品医療機器総合機構), 五所正彦 (筑波大), 田栗正隆 (横浜市立大), 長谷川貴大 (塩野義製薬))
- (11) 地震ビッグデータ解析の最前線 (長尾大道 (東京大), 加藤愛太郎 (東京大), 矢野恵佑 (統数研))
- (12) 生存時間解析のモデル・手法 (江村剛志 (久留米大))
- (13) コピュラ研究の展開 (吉羽要直 (東京都立大))
- (14) 確率過程の統計学における最新の展開 (荻原哲平 (東京大))
- (15) 新学習指導要領と高大連携データサイエンス教育の展開 (竹内光悦 (統計教育委員長・実践女子大), 藤井良宜 (統計教育分科会主査・宮崎大), 渡辺美智子 (立正大))
- (16) IASC-ARS International Session 1 - Recent advances and new trends in computational statistics - (森裕一 (岡山理科大))
- (17) IASC-ARS International Session 2 - Recent advances and new trends in computational statistics - (森裕一 (岡山理科大))
- (18) 人文学・社会科学分野におけるデータインフラストラクチャー構築推進事業の展開 (廣松毅 (日本学術振興会), 前田幸男 (日本学術振興会), 伊藤伸介 (日本学術振興会))

- (19) 大規模データを対象にした匿名加工とプライバシー保護の動向（佐井至道（岡山商科大），星野伸明（金沢大），伊藤伸介（中央大））
- (20) 公的統計マイクロデータにおけるさらなる利活用をめぐって（南和宏（統数研），伊藤伸介（中央大））
- (21) 応用統計学会の企画セッション：統計的因果効果推定の近年の進展：異質性を中心に（星野崇宏（慶應義塾大・理化学研究所））
- (22) 統計数理研究所医療健康データ科学研究センター「医療統計学のフロンティア」（松井茂之（名古屋大・統数研），伊藤陽一（北海道大），田栗正隆（横浜市立大））

6. プレナリーセッション，チュートリアルセッション，市民講演会について

プレナリーセッション “JISD session supported by JSPS Kakenhi”

日 時：2021年9月6日（月）午前【オンライン講演】

オーガナイザー・座長：松田安昌（東北大学大学院経済学研究科）

講演者：Prof. Sudipto Banerjee (Department of Biostatistics, UCLA School of Public Health)

題 名：Bayesian modeling and inference for high-dimensional spatial-temporal data

日本統計学会では科学研究費補助金：国際情報発信強化 (B)「日本統計学会欧文誌から国際的新雑誌への発展を計る取組」による補助を受け，2年に1回の頻度で統計関連学会連合大会プレナリーセッションを企画しています。本セッションは，本計画に基づき，Prof. Sudipto Banerjee (Department of Biostatistics, UCLA School of Public Health) を招へいし，プレナリー講演: Bayesian modeling and inference for high-dimensional spatial-temporal data を企画します。COVID-19 入国制限のためオンライン講演の予定です。講演は英語で行われます。2名の討論者（菅澤翔之助（東京大学），村上大輔（統計数理研究所））を予定しています。

チュートリアルセッション

今回のチュートリアルセッションでは，「データ分析のためのデータ可視化入門」（キラーン・ヒーリー原著，講談社）の出版に因み，同書の訳者の方々にご講演いただけることになりました。

日 時：2021年9月5日（日） 13:00～16:00（休憩時間を含む）【オンライン講演】

テーマ：Rによるデータ解析のためのデータ可視化

オーガナイザー：坂本 亘（岡山大学）

講 師：三村喬生氏（量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所）

江口哲史氏（千葉大学 予防医学センター）

瓜生真也（国立環境研究所 生物多様性領域）

概 要： 「21世紀はデータの時代」とも言われ、私たちがごく普通の日常生活を送っているだけで膨大な数値データが生み出され、それはどこかで誰かの手によって解析されています。

データ解析において、対象となるデータの構造を概観するため、解析途中のステップを記録するため、あるいは結果として何が得られたのかを伝えるためといった様々な目的でデータ可視化が用いられます。本講演は、演者3名の共訳による『実践 Data Science シリーズ データ解析のためのデータ可視化入門』（講談社）を元に、Rのtidyverseパッケージやggplot2パッケージを使ったデータ可視化の方法論を作図事例とともにまとめました。具体的には、複数の水準で分割したパネルを並べた図や、統計モデルの出力結果、地理データの描画など紹介します。これらの作図を通じて、手元の数値情報から効率よく目的の図を作り出す技術や、必要に応じて柔軟に図を修正する技術についてまとめて知識を得られると思います。

一方でデータ可視化は強力なツールですが、落とし穴があります。望んでいた傾向を美しく表す図であったとしても、データの特定の側面を良いところ取りに強調していたり、解析者の意図に合わせるような強引な表現になっていたりしないでしょうか。特に、自分で作った図に自分が騙されてしまわないように注意する必要があります。従って、図がどう読み取られるかを理解した上でグラフ表現（系列・色・形・グラフの種類など）を選択する力を身につける必要があります。これは「良いグラフ」を作るためにも重要な技術です。本講演ではこの点についても時間を割いて概観します。

市民講演会

今回の市民講演会では、新型コロナウイルス感染症の流行が続いているという状況を踏まえ、開催校の長崎大学から、呼吸器内科、感染症がご専門の山本和子先生にご登壇いただけることになりました。

日 時：2021年9月5日（日） 16:30～18:00【オンライン講演】

タイトル：新型コロナウイルス感染症の特徴と実臨床

講演者：山本和子氏（長崎大学病院）

7. 参加申込と大会参加費

オンライン開催となりましたので、参加登録については大会ウェブページからの申込みとなります。円滑な大会の運営のためにも、また参加費割引のためにも、事前参加申込をご利用ください。受付期間は、「2. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前参加申込の場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催6学会の会員）	7,000円	10,000円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000円	8,000円
学生以外の非会員	15,000円	20,000円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催6学会の会員）	3,000円	4,000円
学生（会員・非会員を問わず）	2,000円	3,000円
学生以外の非会員	6,000円	8,000円

【注意】

- (1) 講演申込をされた方も参加申込の手続きが必要です。
- (2) 現地では（対面セッションは）開催されません。オンライン参加の申込みのみとなります。
- (3) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認められません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料送付のみとなります。
- (4) 主催6学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。
- (5) 市民講演会は無料です。
- (6) 報告集およびチュートリアルセッション資料の（追加）購入は、参加登録のページからお申し込みください。
- (7) 昨年度と同様に、参加の方法の「オンライン開催について」の注意事項は連合大会のウェブページにてご案内いたします。また、発表者の方には、チュートリアル・市民講演会の開催日（9月5日（日）、予定）にテスト会場を準備する予定となっておりますので、ご利用ください。